

読んで、知って、みんなで考える
天竜区協議会だより

特集：中山間地域の教育と子育てについて



Vol.01
令和7年12月

表紙の写真は「劇団限界集落」における公演の1シーンです。「劇団限界集落」は、浜松市天竜区春野町で活動する、住民有志による手作りミュージカル劇団です。過疎化が進む故郷を元気にしたいという思いから旗揚げされ、出演者やスタッフは町内在住の園児から70代まで幅広い年齢層で構成されています。劇団の活動を通して、地域住民の交流を深め、町に活力を与えることを目指しています。

天竜区協議会
会長 進藤 博行

皆さん、「天竜区協議会」ってご存知ですか。あまり馴染みのない言葉かもしれませんが、おおまかに言いますと、各地区から推薦された25名の協議会委員が、市当局から発案される諮問事項、協議事項などを審議したり、各委員から出される数々の地域課題を話し合うといった内容で、副市長、区長にも参加していただき、毎月会議を実施しています。会議を重ねるにつれ「地域の皆さんに、もっと協議会での内容を報告すべきだ!」「皆さんのご意見、ご要望を広く聴いて、この会で取り上げるべきだ!」といった意見が続出。改めて、広報、広聴の大切さを認識し、ここに「区協だより第一号」を発行することとなりました。「天竜区が一つになって、より良い住環境づくり。」その一助となれることを願っております。

■ 天竜区協議会委員について (令和6年9月1日～令和8年3月31日)

天野 則子：天竜商工会	春野2期
伊賀 康司：天竜区自治会連合会	龍山1期
市橋 秀和：天竜区自治会連合会	佐久間1期
井上 保典：天竜区自治会連合会	水窪1期
上平 安利：遠州中央農業協同組合	春野1期
内野 永士：天竜区自治会連合会	天竜2期
梅澤美百合：浜松市天竜区更生保護女性会	水窪1期
海老原政彦：公募	天竜1期
太田さをり：浜松市天竜区地区社会福祉協議会連絡会	天竜2期
尾上 直秀：浜松地域森林組合協議会	春野1期
小泉 孝保：浜松市スポーツ協会天竜支部	天竜1期
進藤 博行：天竜区自治会連合会	春野2期 (会長)
鈴木ひかり：天竜区自治会連合会	天竜1期
高氏 秀佳：天竜区自治会連合会	佐久間2期
豎山 正之：公募	龍山1期
土田 哲也：天竜区自治会連合会	天竜2期
吹野 桂子：天竜区自治会連合会	龍山1期
牧内 真美：天竜区自治会連合会	水窪1期
松本 常志：天竜区自治会連合会	春野2期
三須 富美：天竜区観光協会	春野2期
南屋 裕康：天竜区自治会連合会	水窪1期
三室 正夫：天竜区自治会連合会	龍山1期
村井 教子：天竜文化協会	天竜2期 (副会長)
村瀬 純子：天竜区自治会連合会	佐久間2期
柳澤 光子：天竜区自治会連合会	春野1期

■ 天竜区協議会について

天竜区協議会は、天竜区の暮らしをより良くするために、地域の代表者が集まり、区の課題や未来について話し合う市民参加の会議です。医療・交通・子育て・観光・中山間地域の生活環境など、天竜区の大切なテーマを取り上げ、市からの提案に意見を述べたり、地域からの声を市へ届ける役割を担っています。会議は傍聴もでき、議事録も公開されています。地域の今とこれからをつくる“天竜の相談役”として、市民のみなさんとともに天竜区の魅力あるまちづくりを進めています。



詳しくはこちら

※本たよりは、天竜区協議会委員により編集・発行されています。

■ 天竜区協議会事務局 ※ご意見などありましたら、お気軽に声をお寄せ下さい。

天竜区役所区振興課
〒431-3392 浜松市天竜区二俣町二俣481番地 電話 053-922-0013
Eメール tn-shinko@city.hamamatsu.shizuoka.jp FAX 053-922-0049

■ 傍聴について

区協議会は傍聴することができます。開催日程は、市ホームページまたは電話で確認してください。希望する場合は、事前に事務局まで連絡してください。(傍聴は、先着順で受け付けます) 会議の詳細は、市ホームページまたは区役所情報公開コーナーでご覧いただけます。

市HP▶

想いをつなぐ、 地域の子育てと学び

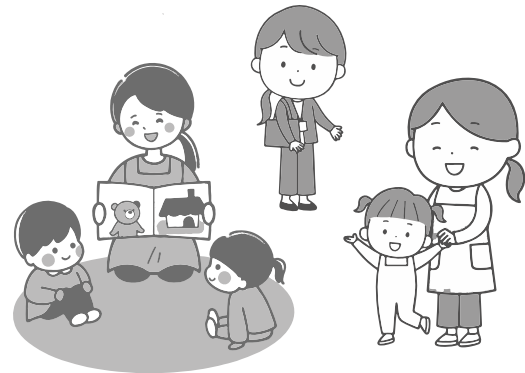


地域で支える子育て 天竜の保育ママ制度 (天竜区協議会委員 山東在住 鈴木ひかり)

「保育ママ制度」って知っていますか？

この制度、市内だと天竜区でのみ実施されているんです！天竜区内に住民登録のある子ども、市内に住民登録があって天竜区内で保護者が就労又はその他の事由により活動する子どものうち0歳児から小学4年生までが利用できます。共働きが当たり前の時代。いざという時、身内以外にも頼れる居場所って必要だと思いませんか？

知人が保育ママをやっていますが、年が違って友達ができたり成長がみれたり、お母さんが笑顔で迎えに来てくれる姿をみるとやってよかったなと思うそうです。預かりだけでなく子育ての悩み相談もできて子育てのコミュニティになっています。協議会では農作業などを手伝う家庭にも利用可能にしてほしいと呼びかけ、今年7月の改正により追加されました。ぜひ、保育ママ制度を知って活用してもらいたいです。

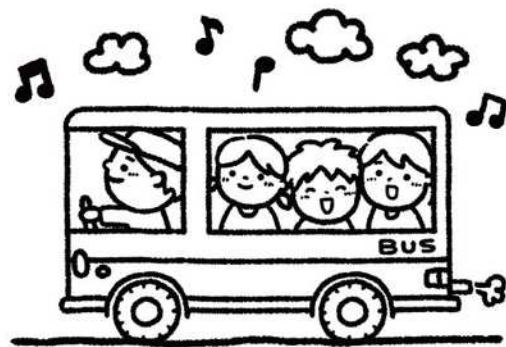


春野町の通学支援と子育て環境のこれから (天竜区協議会委員 春野在住 三須富美)

春野町では、幼稚園の送迎、また高校生の通学に関して春野町から西鹿島や天竜までのバス代の負担、遠鉄バスも春野支所、秋葉バスも気田までなので、それよりも奥にお住まいの方に関しては、毎日の送迎も必要になる場合もあります。また、部活があれば、ほぼ毎日、天竜や西鹿島までの

送迎の負担もあるとお声があります。移住定住の促進と子育てができる環境のギャップを感じます。今回は、春野町内の犬居地区の一部の方からご意見をお聞きいたしました。

ご紹介にあるとおり、天竜区協議会の委員はお読みいただいている方のお住まいの地域にもいらっしゃいます。子育て、教育のこと、それ以外に関しましても「住むならやっぱり浜松」が現実となるよう、皆様のお声を協議委員にお寄せいただけたらと思います。よろしくお願いいたします。



人が育て、人に育てられる天竜の教育 (天竜区協議会委員 水窪在住 牧内真美)

水窪小学校の児童数17名、水窪中学校の生徒数19名。これだけ見ると先々が不安になる数字です。もちろんこの先どうなるかはわかりません。しかし、そこにはいきいきと生徒と向き合ってくれる先生方がいて、のびのび育っている子供達があります。先生が楽しんでいるから子供達ものびのびしています。コミュニケーションの深さは確実に子供達の心を養ってくれていると思います。



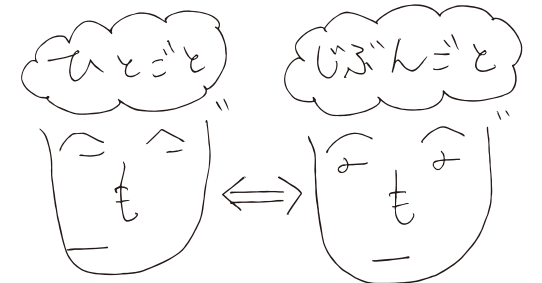
この天竜区にはそんな教育が沢山残っている気がします。失ったものや、足りない物も沢山あるのは事実ですが、まずは有るものに目を向けてみたら、実は足りていることもあるのではないのでしょうか。教育=人との関わりの中で、育まれていくもの。だとしたら、人の温かみが残っているこの天竜区は、教育にピッタリな場所だと私は思います。子供達が胸を張って、育った町を自慢できるよう、まずは私達大人が各地域の『有る』ものに目を向けていきたいですね。

ひとごとからじぶんごとへ 気づきの移住20年 (天竜区協議会委員 熊在住 海老原政彦)

私たち家族は20年前に熊に移住しましたが、その前5年ほど浜北市に住んでいて、熊の人たちとも交流がありました。当時高校進学を迎えた子どもがいる家族から、浜北周辺の賃貸ってどのくらい、という相談がありました。自宅から高校への通学が大変だから下宿を考えているというお話で、正直その当時は、それは大変ですねとひとごととしてとらえていました。

今熊に住んでいて、その家族の切実な思いが熊地区の、そして天竜区全体の思いであることをひしひしと感じています。この「区協だより」を通して、様々な問題や困っている事を知ってもらい、皆さんのじぶんごととして考えてもらうきっかけになればと願っています。

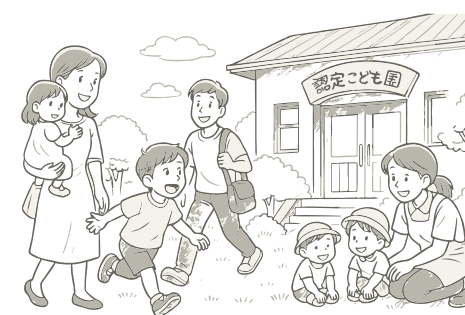
もし時間を戻せるのなら、当時の私に今回の区協だよりを届けたいです。



安心して子どもを預けられる地域に (天竜区協議会委員 二俣在住 土田哲也)

天竜区で4歳と6歳の子どもを育てています。子育てをしていて感じるのは、「安心して子どもを預けられる場所の大切さ」です。共働きが当たり前になった今、夕方まで預かってもらえる施設や、急な仕事の時にも頼れる仕組みは本当に大切です。

けれど天竜区では、預かり保育をしている園がまだ少なく、保育ママ制度を利用したり、二俣や



山東まで送り迎えをしている家庭も多いと聞きます。通園時間が長くなるぶん、親も子どもも大変ですね。その中で注目しているのが「認定こども園」。幼稚園と保育園の機能を併せ持ち、働き方が変わっても同じ園に通い続けられます。中山間地域に若い世代を呼び込むには、子育てしやすい環境が必要です。地域の声を天竜区協議会を通じて届け、子どもが笑顔で育つ街を目指していきたいと思っています。